

堺市英語教育推進プラン

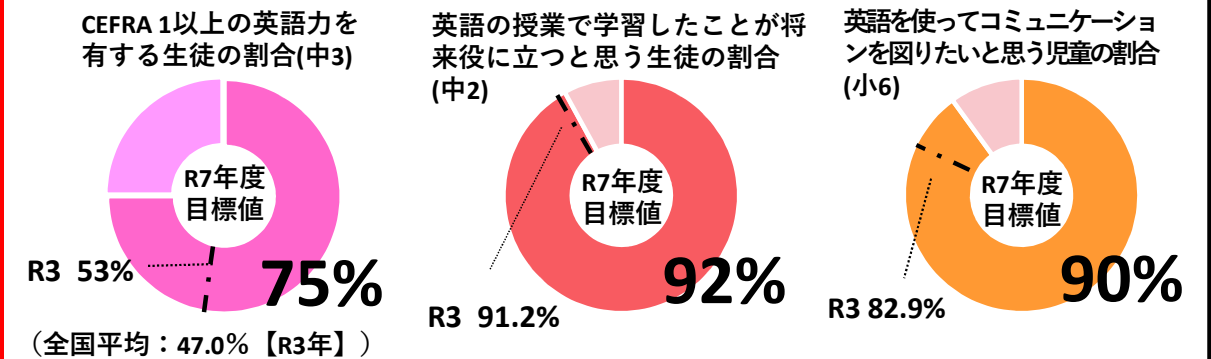
9年間で
めざす
子どもの姿

グローバルに活躍するために必要な英語力を身に付け、主体的・積極的に外国語を用いて他者とコミュニケーションを図ろうとする生徒

プランの
方向性

- ① - 各段階に応じた英語による英語の授業への転換
- ② - 各段階の指導の重点に応じたアウトプット機会の充実
- ③ - 指導体制の強化と研修の促進

R7目標



各段階の重点目標

各段階の主軸となる取組

指導体制の強化

小学1・2年生

英語に出会う

英語との出会いの充実

早期の段階から外国語に触れる環境を整備し意欲向上を図る

小学3・4年生

英語に慣れ親しむ

本物に触れるコミュニケーションの充実

別紙2

NSとの文化体験授業

生活科や学活等の時間にNSを通して海外の文化や季節の行事を体験する
簡単な英語のあいさつや歌など、英語を発話する機会を設け、3年生以降の外国語活動への意欲を高める

別紙1

義務教育9年間を見通した指導の充実

加配教員による指導

指導する人材の確保

指導力向上研修の充実

小学5・6年生

簡単な英語で気持ちや考えを伝え合う

英語で伝えあう体験の充実

指導方法の共有などにより小中のまなびを円滑に接続させ、中学校からの意欲低下を防ぐ

5領域をバランスよく、効果的に関連付けた学習を計画・実施

NSとの国際交流イベント

複数のNSと英語によるコミュニケーションを通して国際社会について学ぶ
複数名のNSによる体験型イベントを実施し、英語を用いて近隣校の児童と交流しながら諸外国の文化を学習する

NS・外国語担当教員又は学級担任とのチーム・ティーチング

NSとのチーム・ティーチングを行い、生きた英語に触れながら学ぶ
・NSとの短いやりとりなどを通して「英語で話せた」成功体験を蓄積し、外国語を学ぶ意欲を高める
・授業時間以外でのNSとの関わりや、英語の掲示物やイベント等、早期から英語を身近に感じられるような環境の中で英語を学ぶ必要性や意義を感じ取る

国際理解教育（総合的な学習等で年間を通して実施）

総合的な学習等の時間にNSを入口として世界の文化や慣習を知り、地域や自国の文化をNSに紹介する
探究的な学習活動にて外国の文化について学び、国際社会への興味を広げ、また、自分の住む地域や自国の文化のよさを再発見する

ICTを活用した学習

児童生徒用パソコンを活用して学ぶ やりとりの様子を録画して、振り返る

指導者の特性を生かした言語活動の充実

専門性の高い教員による指導の促進 高学年を中心とした教科担任制を実施し、英語で進めるわかりやすい授業により、外国語の学習の楽しさを感じさせ、自分の気持ちや考えを英語を使って表現する言語活動を充実させる

英語指導加配教員による言語活動を中心とした専科指導
英語推進加配教員による担任とのTT指導
非常勤講師による専科指導

一定の英語力を有する小学校教員を採用し、英語が指導体制の充実を図る
外国語の指導を得意とする教員を増やし、英語による英語の指導の促進を図る

外国語活動・外国語科指導者研修

言語活動を通じた指導について全教職員対象とした研修を実施する

小学校英語指導加配研修・小学校英語教育推進加配研修 加配教員を対象に指導力向上についての研修を実施

小学校英語教育推進加配教員等による校内研修 校内の外国語担当を中心に学校全体で指導力の向上を図る

教育課程説明会（年1回）・初等教育研究会の連携 学習指導要領の趣旨理解と質的改善を図る

中学1年生

関心のある事柄について

英語学習の成果を発揮する実践的なアウトプットの充実

自分の考えや気持ちを他者と交流する

日常的な話題について

社会的な話題について

別紙3

オンライン英会話

マンツーマンでのオンライン英会話を実施し、学習内容を生かしたより実践的な場面での即興的なやりとりから学ぶ

NS・英語科教員とのチーム・ティーチング

NSとのチーム・ティーチングを行い、英語による英語の指導から学ぶ
・授業の場面でより多くNSと話す必然性をつくり出し、学習の中で英語を使う場面を増加させる
・授業、NSや教員、生徒同士でスモールトークを実施し、アウトプットの反復による内容の定着を図る
・毎授業、NSや教員、生徒同士でスモールトークを実施し、アウトプットの反復による内容の定着を図る
・パフォーマンステストから、英語を話すことができる実感や自信を高める
・NSやICT等を活用して効率化することで年に1回以上複数種類のパフォーマンステストを実施
・生徒個別の学習状況を見取り、NS等から助言や支援を行うことで、英語を話すことへの意欲向上を図る

国際理解教育（総合的な学習等で年間を通して実施）

総合的な学習等の時間に世界で起きている事象や問題等などについて、将来の自分を見つめながら学ぶ
探究的な学習活動において、外国の文化の体験者であるNSと関わりながらSDGs等をテーマとした学習を進め、国際社会へ視野を広げ、また、自分の住む地域や自国の文化のよさを再発見する

ICTを活用したコンテンツ学習等

デジタル教科書やICT学習教材を活用して効率よく学ぶ 個に応じた反復学習など、内容定着を図る

指導や活動の内容、生徒の状況に応じた効果的な指導

教え込みのみによる指導から言語活動を通じた指導への転換と、きめ細かな指導の充実
・単元の中で言語活動を繰り返し行い、スモールトークや、パフォーマンステストも充実させる
・堺版授業スタンダードによる授業を基本とし、習熟度別等によるきめ細かな指導を組み合わせる

少人数教育加配による習熟度別・TT指導によるきめ細かな指導
英語実践研究加配による英語教育の課題点改善に関する指導方法研究
英語力向上加配による学力向上のための指導方法研究

求められる英語力を有する教員の割合を増加させ、指導の質の向上を図る
教員の自己研鑽を促し、外部試験等の受験を推奨する

校種を越えて相互に参加

英語指導力向上研修

本市課題に応じた授業改善や指導力向上に関する研修を実施する（研修テーマを設定）

英語教育実践研究加配・英語力向上加配による連絡協議会及び公開授業

教科会やスモールトークの充実等、本市の課題を踏まえた授業改善の取組について、公開授業や実践報告を堺市全体に公開し、英語教育の質的改善を図る

教育課程説明会（年1回）・中学校教育研究会の連携 学習指導要領の趣旨理解と質的改善を図る

外国語担当教員の充実

専科加配教員等の配置

小学校

外国語担当教員による専科指導や学級担任とのチームティーチングによる指導

小学1・2年生

小学3・4年生

小学5・6年生

中学1～3年生

学級担任

生活科・学活等
文化体験授業

学級担任

英語専科
指導英語教育
推進

外国語担当教員

NS（ネイティブ・スピーカー）

効果的に活用

中学校

学習活動、生徒の状況に応じて
指導方法を工夫

英語科教員（加配）

習熟度
別指導

英語科教員

オンライン
英会話講師

小学校

指導者の特性を生かした言語活動の充実

英語専科指導

高学年を中心に
より質の高い指導の実施

英語教育推進

チームティーチングを通して、学級担任の
指導力向上に向けた計画的な取組を実践

外国語担当教員(JTE)

- ・専門性を生かした英語による英語の指導の促進
- ・中学校での指導を見通した系統的な指導
- ・英語のインプットを与える存在

外国語担当教員(JTE)

- ・外国語指導の観点からの指導計画の作成
- ・知識・技能、思考・判断・表現を主に評価

学級担任(HRT)

- ・児童一人ひとりの理解、信頼関係
- ・学習指導と生活指導の両面に配慮
- ・児童とともに英語を使い学ぶ存在
→「自分も英語で話してみたい!」
- ・態度面を主に評価

チームティーチング

チームティーチング

クラスを2つに分けて少人数にして、子どもたちの会話の練習回数を増やそう。



今日は、担任の先生にもモデルになってもらって、NSとは違った表現に触れさせよう。

- 英語を用いて互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動を充実
- 児童の不安を取り除き、失敗を恐れない雰囲気づくりを意識
- 音声中心の学習から段階的に読むこと、書くことにも慣れ親しむ
- Can-doリストの活用
- 英語で行う外国語の授業をめざす

NS（ネイティブ・スピーカー）年間活用回数 3・4年 12回程度
5・6年 24回程度

- ・自然な英語を与える存在
- ・学んだ英語を実際に使うコミュニケーションの相手
- ・異文化を体現

中学校への円滑な接続

中学校

指導や活動の内容、生徒の状況に応じた効果的な指導

1授業時間

1単元

英語科担当教員

英語科担当教員(加配教員)

新しい表現を学習するから、授業のはじめは一斉に指導しよう。

一斉指導

チーム・ティーチング

活動の前には、NSと一緒にSmall Talkのモデルを見せよう。

もうすぐオンライン英会話があるな。事前に準備したスピーチをNSに聞いてもらう活動を設定しよう。

- 堺版授業スタンダードを基本とした授業の推進
- 英語を用いて互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動を充実
- Small Talk、パフォーマンステストの充実
- 英語による英語の指導
- Can-doリストの活用
- 5領域を効果的に関連付ける統合的な言語活動の設定をめざす

NS（ネイティブ・スピーカー）年間活用回数 1・2年 23回程度
3年 21回程度

チームティーチング

チームティーチング

習熟度別指導

既習表現の確認をするから、習熟度別指導がいいな。少人数できめ細かに指導できるな。

均等分割指導

今日の学習は、つまずきやすい内容だな。習熟度別で指導した方がいいな。

活動のめあてをみんなで共有してから、途中で、2つに分かれて、活動を支援しよう。

授業

○授業のポイント（例）



Point

授業では、以下の1～5の学習活動を基本とし、N Sを効果的に活用し、外国語によるコミュニケーション活動を充実させることが重要。

活用場面

1. Greeting

2. Daily Question

Daily Question

JTE (T1)がリードする日やNS(T2)がリードする日を作ることで変化を持たせよう。また、NSがいる時は、自国の天気や時間などの質問をするなどの工夫する。

3. Introduction

Small Talk

JTE(T1)とNS(T2)とのSmall Talkで児童生徒に活動のモデルを示すことにより、その後の活動で「何をすればよいのか」「どのように英語を使えばよいのか」が分かり、児童生徒が見通しをもってスムーズに活動に移ることができるようにする。

4. Activity

Activityでの積極的な活用を

活動を始める際の説明や指示、そして活動の中でN Sと英語でやり取りを行うことで、児童生徒が自然な英語を身に付けることができるようになるので、積極的に活用する。

5. Reflection & Closing

教育活動全体

○N S活用のポイント



小学校

中学校

小学1・2年生

小学3・4年生

小学5・6年生

中学1～3年生

季節のイベントなどで世界の文化を紹介

絵本の読み聞かせや簡単なゲーム

給食、掃除、休み時間を通した触れ合い

パフォーマンステストの評価補助

英語暗唱大会でのアドバイス

部活動への参加

オンライン英会話の事前準備

英検等を受験する児童生徒のサポート

N Sオリジナルの英語掲示板、英語新聞の作成



☆昼休み英語チャレンジ☆

昼休みに英語ルーム等で「今週のフレーズ」を使ってN Sと交流する「英語チャレンジ」。成功したらN Sにスタンプカードにハンコを押してもらおう。

☆昼休みの英語放送☆

N Sによるワンポイント英会話レッスンや英語の歌の紹介をお昼の時間に放送してもらおう。



☆堺市イングリッシュ・サマーキャンプ（仮称）（R5年度試行実施予定）☆

長期休暇等において、希望参加の小中学校の子どもたちが集中的に英語に触れる機会を設けます。

テーマ「カントリー・ツアー」のプログラム例

・各ブースをそれぞれの「国」と見立て、各国のN Sと子どもたちはパスポートを持って、英語でコミュニケーションを図りながら、それぞれの文化に触れ、遊びを体験する。児童生徒が必然的に英語を使う環境で、「英語が話せた」「自分の英語が伝わった」という達成感を感じ、さらなる学習への意欲を喚起する機会を設けます。



キャンプパスポート
作成、
キャンプ入国手続き

アメリカ・カナダ

・サイモンセックスゲーム
でウォームアップ
・仲間と協力して羽
根つけゲーム

イギリス

・イギリスの各地域
の紹介
・オリジナルのCrest
（紋章）作り

アフリカ

・アフリカ諸国や動物に
ついて知る
・動物カードゲームで動
物の言い方に慣れる

フィリピン

・伝統的な手遊び
体験を学ぶ



堺版オンライン英会話

- 生徒用パソコンで、オンラインを活用した外国人講師とのマンツーマンレッスン。
- 習熟度を加味したアウトプット力試し型レッスン（※）を年間3回、中学2年で実施。より実践的な英会話を体験する。
- 生徒個々の習熟度に合わせた3つのコース（スタンダード、ベーシック、アドバンスド）とマンツーマンレッスンによる、パーソナライズされた個別最適な学びを実現することで、英語力やグローバルに活躍する能力の向上をめざす。

※アウトプット力試し型レッスン

事前学習で、生徒が学習テーマに基づき、既習表現を用いて表現したい内容を準備。オンライン英会話当日、内容を講師にスピーチし、講師からの質問や感想等により、即興性のあるやりとりを通して、より実践的な英会話を学ぶレッスン形態。

オンライン英会話サイクル

事前学習

オンライン英会話前
(1～2時間)

- オンライン英会話で使う表現を定着
⇒これまでの授業で学習した文法・表現を復習し、相手に伝える内容をあらかじめ準備しておく。
- ☆オンライン英会話への自信・意欲を高め、英語力の定着につなげる。

- ・オンライン英会話では授業で習った表現を使ってみよう。
- ・どんな内容を伝えるかも大事な。図書館で調べてみよう!

オンライン英会話

オンライン英会話当日 (25分間)

- 学んだ英語を使って習熟度に応じた力試し（アウトプット）
⇒英語を話す力や聞く力の向上に加え、自分の考えや気持ちを外国の人に伝える。
- ☆会話することの喜びや成功体験を実感し、今後の授業や英語によるコミュニケーションへの意欲向上につなげる。

事後学習

オンライン英会話後
(1～2時間)

- オンライン英会話での学びや経験をもとに、様々な場面でアウトプット
⇒繰り返し英語を使うことで、さらなる定着を図る。

- ・本番で出せなかった表現を調べて覚えよう。
- ・NSにもっと話しかけてみよう。

授業・家庭学習への意欲

オンライン英会話当日

パソコンの準備・ログイン

パソコン・通信トラブルは、ICT支援員が対応します。

めあての確認

将来の夢について、外国の先生に伝えよう

テーマの例

楽しかった思い出、将来の夢、堺の街

15分間



今日はオンライン英会話のレッスンですね。どんなレッスンにしたいですか。

今まで習った表現を使って、伝えたいな。



スピーチ以外でも、先生の質問にしっかり答えたい。

オンライン英会話レッスン

Greeting

T・Good morning! My name is ~.
Whats your name?・・・
What do you like to do?・・・



Speech and questions

S・I want to be a soccer player.
I practice soccer on my school team every day.
I want to become a member of a select team.
Thank you.
T・That's great! Do you like soccer?・・・
S・Yes, I do. Do you like soccer?
・・・
T・Thank you, ~.Your English is so nice!~

普段の授業のSmall talkで意識している、対話を続けるポイントを活かして、会話が途切れないようにしたいな。

自己紹介をするんだな。先生の表現を真似して、趣味のことを話してみよう。

うまく伝わったみたいだな。

こういう場面で、この英語表現を使うといいんだな。ほめてもらってうれしいな。

うなづいて聞いてくれるから、話しやすいな。今度は自分から質問してみよう。

スムーズに質問できた!

英語で会話を続けられた!

英語が伝わった!

もっと聞いてみたかったな。どういうふうに言えばよかったのかな。

25分間
※

ふりかえり



今日のオンラインレッスンはどうでしたか。

準備していた表現以外にも、これまでに習った英語表現で伝えることができた。家で復習できてよかった!

もっと英語が話せたら、スムーズに会話できるだろうな。普段の授業も頑張ってみよう!

10分間

達成感

普段の学習・英語でのコミュニケーションへの意欲